

飲酒運転追放! 秋の全国交通安全運動スタート式

9月21日(木)から30日(土)までの10日間、秋の全国交通安全運動が全国各地で実施され、高齢者の交通事故防止を基本に国東市内でもさまざまな取り組みが行われました。

21日午前7時30分からアストくにさき駐車場で行われたスタート式には、県・市・警察署・市内の事業所などから約100人が参加。照山俊一市長、城井雅伸国東警察署長らが「全国で多発している飲酒運転を追放し、『おこさず・あわず・事故ゼロ』で、子どもや高齢者の事故防止に全力をあげ、交通死亡

事故防止に努めましょう。」とあいさつ。式終了後、参加者全員で、通勤途中のドライバーに啓発チラシなどを配布して、安全運転を呼びかけました。



▲スタート式の様子

事故を起こさず安全運転を! 交通安全マスコットをプレゼント

安岐老人クラブ女性部

9月12日(火)、国東市老人クラブ安岐支部老人クラブ連合会(岸和田利雄会長)の女性部の皆さんが、手作りの交通安全マスコット500個を寄贈しました。

この日、山浦の八幡社で老人クラブの皆さんが安全祈願を行った“めじろん”のマスコットは、秋の交通安全スタート式で、ドライバーの皆さんに配布されました。



▲大分国体マスコット“めじろん”をかたどった交通安全マスコット



▲安岐支部内5地区の女性部長の皆さんから照山市長に手渡されました

大恩こども館にこここクラブ

9月22日(金)、国東町の大恩こども館の子ども達と保護者でつくる

「にこここクラブ」の皆さんが、「マスコットを作りました。車に飾り交通安全をお願いします。」と手作りのマスコットを照山市長に寄贈しました。皆さんは、この日の朝7時から、同館近くの交差点で、ドライバーにマスコットを配布し、交通安全を呼びかけました。



▲さくらんぼをかたどったマスコット



▲照山市長にマスコットを贈った大恩こども館「はと組」の皆さんと「にこここクラブ」の皆さん



▲交通安全功労者として表彰された山口公則さん(国見・写真中央)と本多ノリ子さん(安岐)

交通事故のない、安全で安心して暮らせる地域をめざして 平成18年度 国東地区交通安全大会開催

9月26日(火)午後2時から、アストくにさきアストホールで、平成18年度国東地区交通安全大会が開催され、国東市及び姫島村内から約250名が参加しました。

参加者全員で交通事故犠牲者への黙とうを捧げた

後、主催者を代表して、照山俊一市長、城井雅伸国東警察署長があいさつ。交通安全推進に功績のあった21の団体・個人に国東市交通安全推進協議会などから表彰状が贈られました。

また、大分県交通安全講師の永岡史郎さんが「私の交通安全」と題した講演を行い、大分県交通安全母の日の会国東支部事務局長の丸岡和子さんが「交通事故のない、安全で安心して暮らせる地域をめざします。」と交通安全宣言して終了しました。